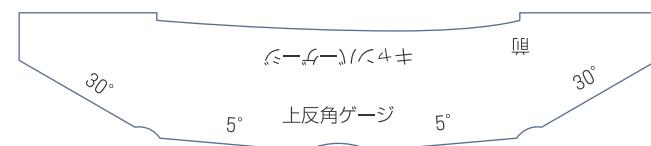
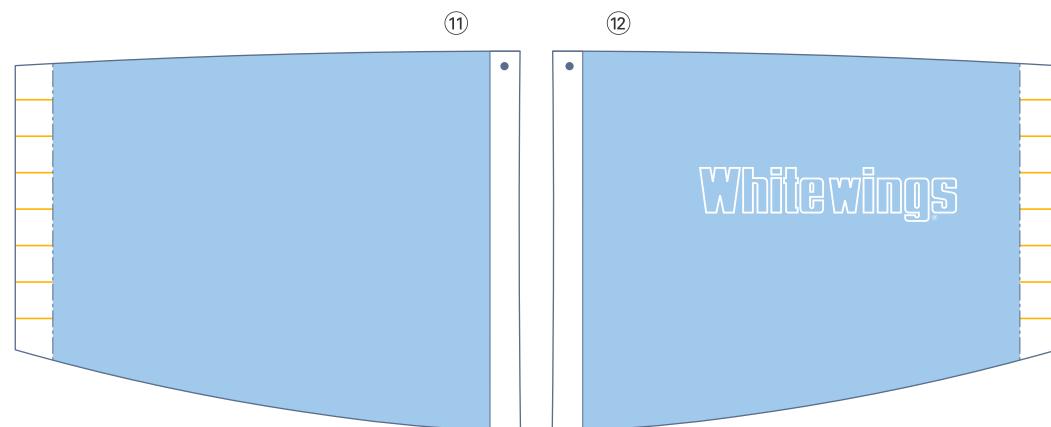
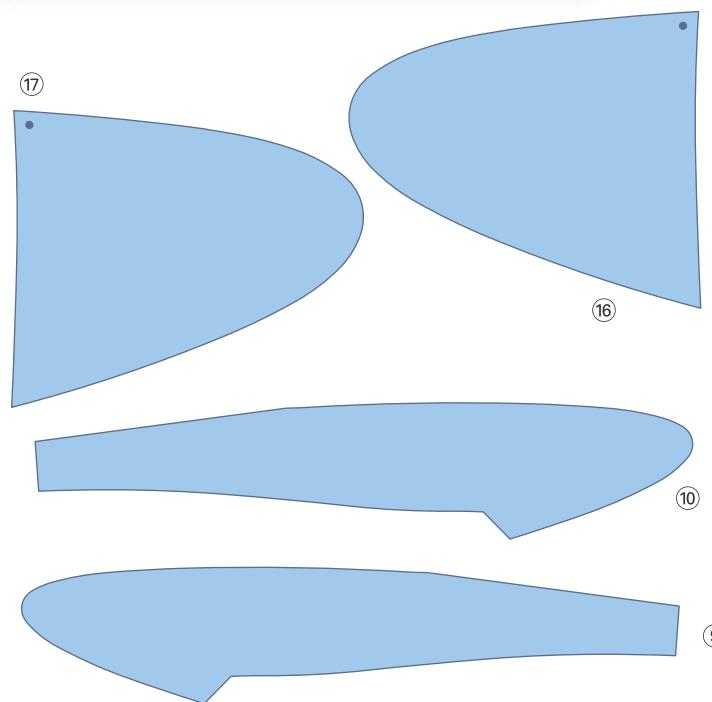
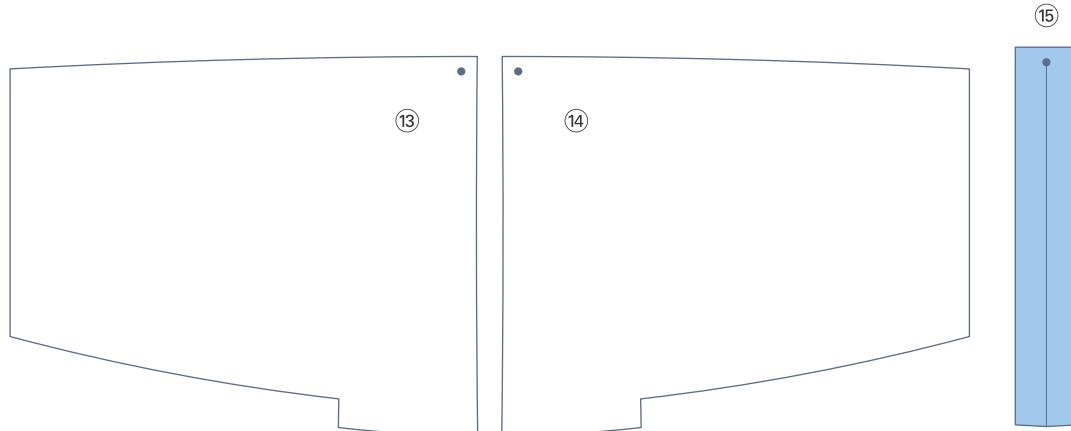


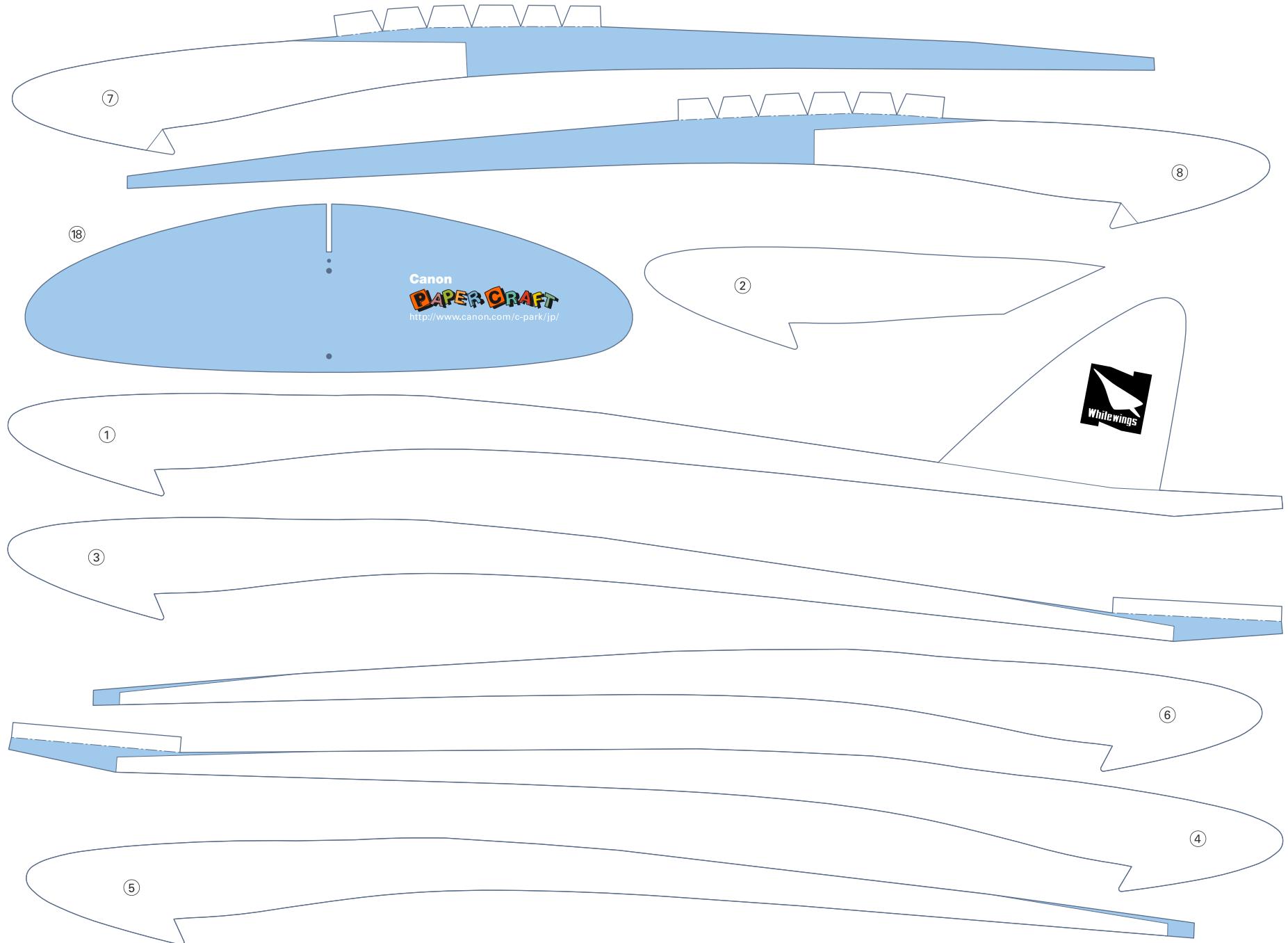
PAPER CRAFT

<http://www.canon.com/c-park/jp/>



Canon 競技用機 レーサー539【組立部品】

Canonはキヤノン株式会社の登録商標です。© Canon Inc. ©1993 Yasuaki Ninomiya



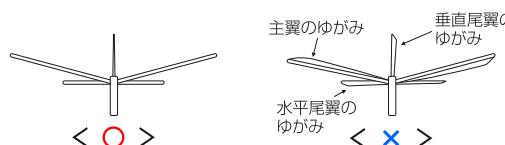
飛ばす前の注意! ペーパーグライダーを飛ばす時は、必ず、次の事項をまもろう!

- ペーパーグライダーが頭や目に当たると、思わぬ大けがをすることがあります。
飛ばすときには、必ず次のことを守ってください。
- 人や動物に当たらないように、周りに十分気を配って飛ばしてください。
人の多いところでは飛ばさないでください。
 - 道路では、絶対に飛ばさないでください。
 - カタパルトシューターで飛ばすとスピードが出るので、団地の広場や小さな公園では絶対にカタパルト
シューターは使わないでください。
 - ペーパーグライダーが木や屋根に引っ掛けた場合は、危険ですから、登って取らないでください。
 - 小さなお子さんがペーパーグライダーを飛ばす時には、大人の方が監督していただきますようお願いします。

1. テスト飛行の前に機体チェック

機体をチェックしよう!

飛ばす前に、横や前から機体をよく見て、胴体や翼が曲がっていないか、ねじれたり傾いたりしていないかをチェックしよう。

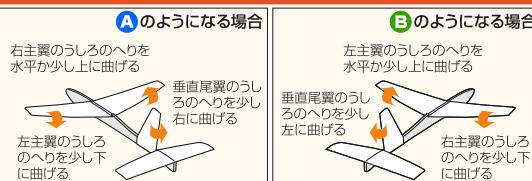
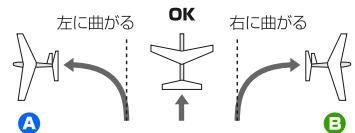


2. テスト飛行

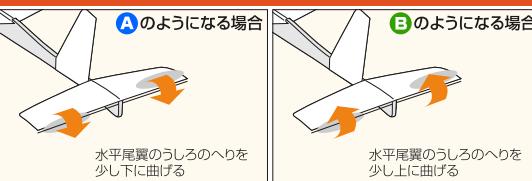
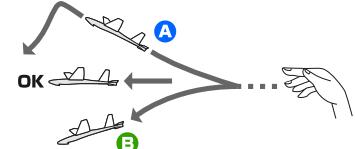
さあ、ペーパーグライダーをまっすぐ押し出すように飛ばしてみよう!

まっすぐなめらかに飛ばなければ、下の図を見て機体を少しずつ調整してみよう。
まっすぐなめらかに滑空するまで、何度もテスト飛行と調整をくり返そう。

Check Point 1 / 左右に曲がるときの調整



Check Point 2 / 機首の上げ下げの調整



3. 飛ばし方

ペーパーグライダーを空高く飛ばしてみよう!

テスト飛行でうまく調整できたら、外に出て空高く飛ばしてみよう。飛ばす時は周囲に十分注意して、楽しく飛ばそう。ペーパーグライダーの飛ばし方には、ハンドランチ(手投げ)とカタパルトシューターを使った2種類の飛ばし方があるぞ。

*ペーパーグライダーを飛ばすには、無風または風の弱い日が適しています。

調整

すぐに落ちたりしてしまう場合は、もう一度試験飛行と調整を繰り返してみよう。

●すぐに墜落する場合



水平尾翼のうしろのへりを上げてみる。

●ふらふらと飛ぶ場合



水平尾翼のうしろのへりをやや下げてみる。

●宙返りしてしまう場合

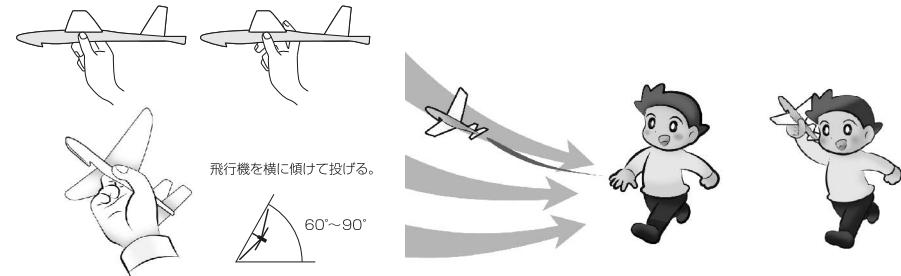


水平尾翼のうしろのへりを下げる。

風向きに対し直角に投げる。

ハンドランチ(手投げ)

ハンドランチで飛ばす場合は、主翼の下の胴体を親指・人差し指・中指の3本で持ち、風に向かって投げ上げるとより飛ばすことができる。人差し指を主翼のうしろのへりにかけて、スナップを利かせて投げる方法も効果的だ。



カタパルトシューター

カタパルトシューターを使うとハンドランチよりも簡単に高く飛ばすことができる。親指と人差し指で主翼の下を持つつか、または胴体の一番うしろの下部を持って発射させよう。

